

# 友達とはどうあるべきか

高牟礼中学校 二年

皆さんは、友達とは、どうあるべきだと思いますか。私は、自分の経験を通して、どうあるべきでもないと思いました。そんな私の過去を話していきたいと思います。

私は、小学一年生ころから一人でした。入学したころは、まだ話せる人がいましたが、それから話が合わなくなり、周りから人がいなくなっていきました。たまに話してくれる人がいますが、

「こんなことも知らないの。時代遅れだね。」とバカにされました。私は、反抗しても何しても無駄だなと思って、何もしてませんでした。ある日、そのことに気付いた先生が色々聞いてきました。

「反抗せず、えらかったね。でも周りの人になんで相談しなかったの。」とたずねました。私は

「そんな人が周りにいたらとっくに相談しているよ。」と言いました。そうすると先生が「じゃあ目標は、友達を作ることだね。」と言いました。その日から私は、朝、みんなにあいさつをしたり、話しかけたりしました。ですが、誰も振り向いてくれませんでした。それから月日が経って、小学四年生になりました。私は、もう希望がありませんでした。ため息をつきながら重い足取りで教室に入る瞬間が毎日の朝の習慣になっていました。もちろん、誰かがあいさつをしてくれるわけでもありませんでした。ある日のことです。教室にいつも通り入ると一人の男子が話しかけてくれました。それから毎日が変わりました。学校に来ては、その男子たちと話していました。毎日が楽しく、輝いているように感じました。ですが、ある日陰口が聞こえてきました。

「あいつ最近男子といるよね。気持ち悪い。」と言っていました。とても心が傷つきました。その日から人をさけるようになりました。それ

から一週間が経ったころ、最初に話しかけてくれた男子から

「なんでさけるの。」と言われました。私が理由を話すとその男子が笑顔で

「関係ないじゃん。」と言ってくれました。私は涙が出てくるほどうれしかったです。それから自分が変わっていきました。前のような暗く、人に無関心だったのが今は、こんなに明るく、人にも自分から関わるようになり、自分なりの個性を大切にできるようになっています。そして私は、主張ということを知りました。皆さんにとって当たり前の主張という言葉の意味が分かりました。それから私の人への見方も変わりました。前は、人の悪いところ、欠点を見ていましたが今では、人の良いところを見ています。

皆さんは、こんな私の経験を聞いて改めて友達とはどうあるべきだと思いますか。私にとって友達とは、性別関係なく、助け合い、ときには、けんかをしたり、言い争いをしたり、一緒にいて楽しい人なのだと思います。そして女子

は女子と男子は男子と仲良くするという固定観念が皆さんにあると思いますが、私は、誰とでも仲良くしていいと思います。性別や年齢、国籍、人種が違っていても仲良くしたいという主張があれば、良いと思っています。だから私は、今、友達という存在のありがたみや大切さを考えながら友達と一緒にいます。最後に皆さんにとって友達とはどういうものですか。